

## 資料2

## 前回会議における委員意見一覧

ご意見	修正
育てたい力「できるようになるのか」「表現したりするか」「當むか」のような表現方法だと、できるようにならなくてはいけないと感じる。「気付く」「考える」のような表現にしてはどうか。	表現方法の変更。
日本の教育のねらいの「生きる力」をどこかに表記すべき。	中央に表記し、幼児教育には「生きる力の基礎を培う」小学校教育には「生きる力を育む」を表記。
アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの割合を平等にすべき。	同程度になるよう変更。
育成をめざす資質・能力をもっと実態に合った短い言葉に。ぎっしりしすぎているので、もう少しあっさりしてもよいのでは。	要約し、量を減らした。 3つの柱が相互に関わり合っているので、枠をなくした。
アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムは汽水域のように交わり合っているものである	枠をなくし、10の姿を中央に配置。 背景色も交わりをイメージ。
幼保側からすると10の姿が、小学校教育の各教科のどこにつながっているのかわからない。	スタートカリキュラムの育てたい資質能力の文末に【10の姿】【教科】として表記。
小学校側の見せ方の工夫を・小学校の事例集が少ない・4月にフューチャーしてもいいのでは。	(来年度以降)小学校スタートカリキュラムの実践事例を収集し、事例集の完成を目指す。